

協 同

〔特集〕 JA農産物直売所の実態と販売高の維持・拡大に向けた取り組み
～JA農産物直売所実態調査の結果から～

2022
September
KYODO

9



兵庫の農業人
Hyogo-nougyoujin

タッグ!兵庫の農業人

地域住民に喜ばれる
直売所づくりに取り組む

Farmer × JA staff
伊藤 能之さん
田中 悠貴さん
詳細は
裏表紙へ

兵庫の農業人

生産者の皆さんとタッグを組んだ
多様な営農活動を紹介します。

タッグの様子は動画でも配信中心!

YouTubeで 兵庫の農業・農協発信ch 検索



今月は JAあかし

地域住民に喜ばれる 直売所づくりに取り組む

ナスの生育状況について話す伊藤さん(左)と田中さん



生産者

産直部会 部会長

伊藤 能之さん

新鮮で安全・安心な農作物を提供し、消費者に笑顔になってもらえるよう、日々努力しています。同JAの生産者はもちろん、すべての生産者とともに農業を盛り上げていきたいです!

JA職員

JAあかし
経済課 フレッシュ・モア店長
田中 悠貴さん

今後も営農指導や新品種・技術の提案活動を通して、生産者の所得向上と農業生産の拡大に向けて取り組んでいきます! 生産者と一緒に、JAあかしの農業と直売所を盛り上げるために頑張ります!

JAあかしは、地域住民に喜ばれる直売所づくりをめざして、「フレッシュ・モア」直売所に出荷している生産者 95 人を構成員とする産直部会と協力した取組みをすすめている。

同JAの田中悠貴さんは、入組以来8年間、経済課に所属し、営農指導や購買事業とともに、直売所の店長を務める。田中さんは、直売所を活性化するために、産直部会に新鮮で安全・安心な農作物を出荷してもらい、消費者に喜ばれるよう、消費者ニーズを踏まえた農作物の栽培を提案している。品質向上を図るため積極的にほ場に出向き、栽培指導や情報提供を行っている。

直売所では、より多くの方に直売所に足を運んでもらい、安心して購入していただけるよう、チラシやポスターの設置、また直売所に出荷している生産者の顔写真を店内に掲示するなどの取組みを行っている。

明石市和坂で年間約 20 品目を栽培し、同JAの直売所に出荷している伊藤能之さんは、夏はナスやトマトを栽培。朝採り野菜を新鮮なうちに消費者へ提供するため、毎朝6時半までに収穫を終え、直売所に出荷している。また、田

中さんから新たな農作物や技術の提案を積極的に引き受け、試験栽培に取り組む。産直部会の部会長として、部会員が作った農作物をより多くの消費者に届けるため、直売所の活性化に努める。

田中さんは「伊藤さんは農業に対して熱い思いで、真摯に向き合い、JAの農業や直売所を盛り上げてくれる」と頼りにする。また、伊藤さんは「田中さんは、頻繁に電話やほ場で相談に乗ってもらい、非常に助かっている」と話す。

同JAは、今後も産直部会と協力し、地域住民に喜ばれる直売所づくりをめざす。

JAあかしの魅力ある直売所づくりに向けた取組み

生産者により良い品質の農作物を出荷してもらうため、**新たな品種や栽培技術の提案などの営農指導**を行う。

また、産直部会と協力し、**地域住民に喜ばれる直売所づくり**に取り組む。